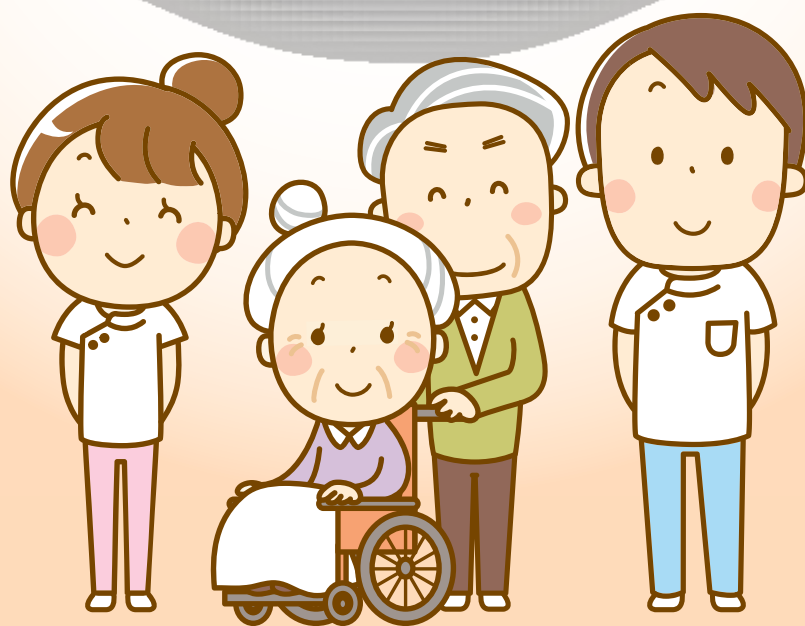


令和元年度

がんばる 介護事業所 表彰



要介護度の維持改善や雇用環境の改善に取り組む
富山県内の介護事業所等を紹介します

「がんばる

介護事業所表彰

とは…

高齢者の自立支援や尊厳の保持に資する良質な介護サービスの提供や、
介護職員の意欲向上につながる
人材育成の充実・職場環境の改善などに積極的に取り組み、
他の模範となるような顕著な成果を出している介護事業所等を表彰し、
これを広く周知することにより、
介護サービスの質の向上や介護人材の安定的確保を図るものです。

(平成28年度創設)

以下の2部門を設定し、それぞれ該当する事業所等を表彰しています。

要介護度維持改善部門

県内で下記サービスを提供する介護保険施設・事業所

- ◎介護老人福祉施設（地域密着型を含む）
- ◎介護老人保健施設
- ◎通所介護（地域密着型を含む）
- ◎認知症対応型通所介護
- ◎介護医療院
- ◎訪問リハビリテーション
- ◎訪問介護
- ◎訪問入浴介護
- ◎夜間対応型訪問介護
- ◎定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ◎介護療養型医療施設
- ◎通所リハビリテーション
- ◎特定施設入居者生活介護
- ◎認知症対応型共同生活介護
- ◎小規模多機能型居宅介護
- ◎看護小規模多機能型居宅介護
- ◎訪問看護
- ◎居宅介護支援

- 【取組み例】
- 利用者の状態に合わせた個別訓練メニューの作成により、身体機能改善者が増加
 - 外部研修で得た知識や技能を共有し、チームで継続的に取り組んだことにより、褥瘡発生者が減少
 - 地域の行事や活動への参加促進により、昼夜逆転者が減少
- など

令和元年度受賞事業所等一覧

事業所名	所在地	事業所名	所在地
特別養護老人ホーム常楽園	上市町	射水万葉会天正寺サポートセンター	富山市
吉見病院	滑川市	射水万葉苑居宅介護支援事業所	射水市
梨雲苑デイサービスセンター	富山市	千石ケアサービス	富山市

表彰式

令和元年12月8日（日）
 「令和元年度地域包括ケア推進県民フォーラム」
 （於：第一イン新湊）にて



雇用環境部門

県内で高齢者福祉サービス又は障害(児)者福祉サービスを提供する法人又は事業所

- 【必須条件】
- ① 労働基準法等、法令に沿った就業規則の整備
 - ② 労働基準法など労働関係法令、その他法令について過去3年間無違反
 - ③ 処遇改善加算Ⅰの届出
 - ④ 開設から5年以上

- 【取組み例】
- 新人職員の指導担当者に対する独自の内部研修の実施
 - 看護休暇・介護休暇の設定など育児、介護を両立できる取組みの実施
 - 職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボット等の導入
 - ICTの活用による職員の負担軽減や業務省力化
 - 職員表彰制度の導入
- など

令和元年度受賞事業所等一覧

事業所名	所在地
トータル・メディカル津沢株式会社	高岡市
特別養護老人ホーム七美ことぶき苑	射水市



要介護度維持改善部門

社会福祉法人富山聖マリア会

特別養護老人ホーム常楽園

所在地 中新川郡上市町館209番地

サービス 介護老人福祉施設

電話 076-472-3993

URL <http://www.seimaria.jp/jyorakuen/>

評価のポイント

- ★地域の病院との緊密な連携の下、嚥下外来を毎月実施
- ★指導内容を写真やチェックリストにより職員間で共有・実践し、利用者の食事量や食事形態がアップ

地域の病院等との連携を通じた専門的ケアによる生活機能・状態の改善

取組みを始めた背景・経緯

床ずれができていられる方に対しては、園内において、栄養状態の確認など様々な取組みを行ってきましたが、なかなか改善が進まず、対応に苦慮していました。

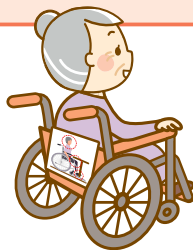
取組みの概要・特徴

地域の病院との連携

嚥下機能を向上させ、栄養状態を改善させる観点から、地域の病院の嚥下外来を月に1回園内で実施し、医師、言語聴覚士及び認定看護師等から、嚥下機能の評価にもとづく適切な食形態や食事の際の車いすやベッドでの姿勢について指導を受けています。



理学療法士と協力し、食事の際の車いすやベッドでの姿勢を写真に収め、居室や車いすに貼り付け、誰もが同じ介護ができるようにしています。



医療職員が床ずれの処置を行なう際は、介護職が補助に付き、床ずれの状態を把握しています。



外部機関との連携

歯科衛生士の指導を受け、口腔ケアのスキルアップを図り、誤嚥性肺炎を予防しています。

衛生用品メーカーの協力を得て、排泄や皮膚の様子等に関する勉強会・研修会を実施し、スキントラブルを予防しています。

取組みの成果

外部機関の協力を得ながら多職種間の連携を大切に取り組むなかで、職員に食事の姿勢や飲み込み時の音への「気づき」が生まれるようになりました。食べ物の飲み込みに障害がある利用者は半減し、「食べる」ことにより栄養状態が改善したこととスキントラブル予防の取組みにより、床ずれができていられる方は平成31年3月に0人になりました。



要介護度維持改善部門

医療法人社団秀林会

吉見病院

所在地 滑川市清水町3番25号

サービス 介護療養型医療施設

電話 076-475-0861

URL <http://yoshimi-hospital.jp/>

評価のポイント

- ★外部の皮膚科医による毎月の指導や多職種が参加する勉強会を実施
- ★スキンケア方法の見直し等徹底対策を講じ、スキンテア※ 発生件数の減少を実現

※スキンテアとは…

通常の医療・療養環境の中で生じる摩擦やずれによって主に高齢者に発生する皮膚の急性損傷

「摩擦は大敵、保湿が最重要」専門家・多職種連携の徹底対策によりスキンテア発生件数が減少

取組みを始めた背景・経緯

高齢により皮膚が乾燥すると些細なことでスキンテアが発生し、感染や床ずれの原因となりがちで、見た目にも痛々しいものです。アームカバーやレッグウォーマーで保護をするなど工夫はしていたものの、患者の方だけではなく職員側も神経質になったり、医療処置に時間を取られ患者の方と触れ合う時間が取れなかったりと悩みはつきものでした。

取組みの概要・特徴

外部の皮膚科医による毎月の回診と職員への指導を実施したところ、洗身方法が基本的に間違っていたことに気付かされました。

清潔感や爽快感を求めてタオルを使用していましたが、「**摩擦は大敵、保湿が最重要**」とのことで、とにかく摩擦をなくし可能な限り保湿することに力を入れました。



スキンケアのポイント

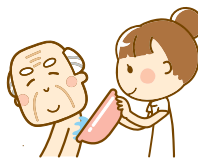
入浴

①泡で包み込むように洗います。



こすらない

②保湿力に優れたおしり洗浄液を薄め、上がり湯を全身くまなくかけます。



③入浴後20分以内に、保湿ローションを擦らず抑え込むように塗ります。



日常

ユマニチュードの取組みとあわせて、ローションをこまめに塗るよう、介護職も看護職も皆で協力し、徹底しています。



栄養状態を評価し、低栄養を予防することで肌のバリア機能と保湿力を改善しています。

介護職、看護職はもとより、栄養士やリハビリ職等全スタッフで、外部講師（認定看護師や衛生用品メーカー）による勉強会を開催しています。

取組みの成果

徹底した取組みを続けた結果、2018年のステンテアの発生件数が11件だったところ、2019年は半分の5件となりました。結果が出ることで、日頃のスキンケアの重要性に対する意識が職員全体に浸透し、継続への原動力となっています。

また、患者の方の状態が良いと自然と患者の方の笑顔に触れる機会や会話が増えるので、職員に達成感ややりがい生まれ、患者の方と職員との双方に良い効果が生まれています。

要介護度維持改善部門

社会福祉法人梨雲福祉会

梨雲苑デイサービスセンター

所在地 富山市吉作1725番地

サービス 通所介護

電話 076-436-2002

URL <https://www.riunen.com/publics/index/24/>

評価のポイント

- ★ 専門家立会いのもとデイサービス終了後のトレーニングマシンを地域住民に開放し健康増進・介護予防に貢献
- ★ 参加者同士の交流を促進し、元気な地域づくりの一翼も担う

施設の資源の有効活用による介護保険サービス外の地域貢献

取組みを始めた背景・経緯、概要

当地域では、体力の低下を実感していても、一人ではなかなか運動ができないため、仲間と体を動かす機会を求めている高齢者が多い傾向にあります。

そこで、私たちのデイサービスセンターで使用している本格的な筋力トレーニングマシンを、デイサービスで利用していない時間帯に地域の皆さんに開放し、介護予防に役立ててもらおうと企画しました。



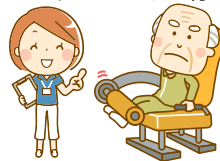
取組みの特徴

安全にトレーニングができることを一番に考え、特にマシンの扱いや無理な負荷を避けるために、理学療法士や運動指導員など専門の資格を持つ職員が設定や助言を行っています。

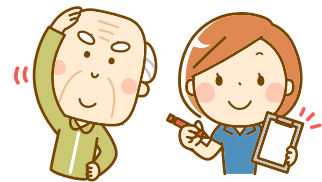
- ① 理学療法士や運動指導員と個別のトレーニングメニューについて相談します。



- ② 1回30分6名のグループで運動指導員の立会いの下、準備運動やマシントレーニングを行います。



- ③ 3か月ごとに任意で体力測定を実施します。



取組みの成果

窓口やホームページ、広報誌での案内を行ったところ、すぐに定員に達し地域の関心の高さを実感しました。

利用者からは、「動作が軽くなった」「痛みが和らいだ」といった体感的な改善を実感されている声や「体力測定の結果からトレーニングの効果を数字で見られるので、自分自身が納得し実感できる」という声が聞かれます。

自分の意思でトレーニングを行うことが自信になり、周囲の人に勧める活動につながるのではと期待しています。



要介護度維持改善部門

社会福祉法人射水万葉会 射水万葉会天正寺サポートセンター

所在地 富山市天正寺484番地 1

サービス 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

電話 076-411-4040

URL http://www.imizu-manyoukai.or.jp/kaigo/support_center_tenshoji/

評価のポイント

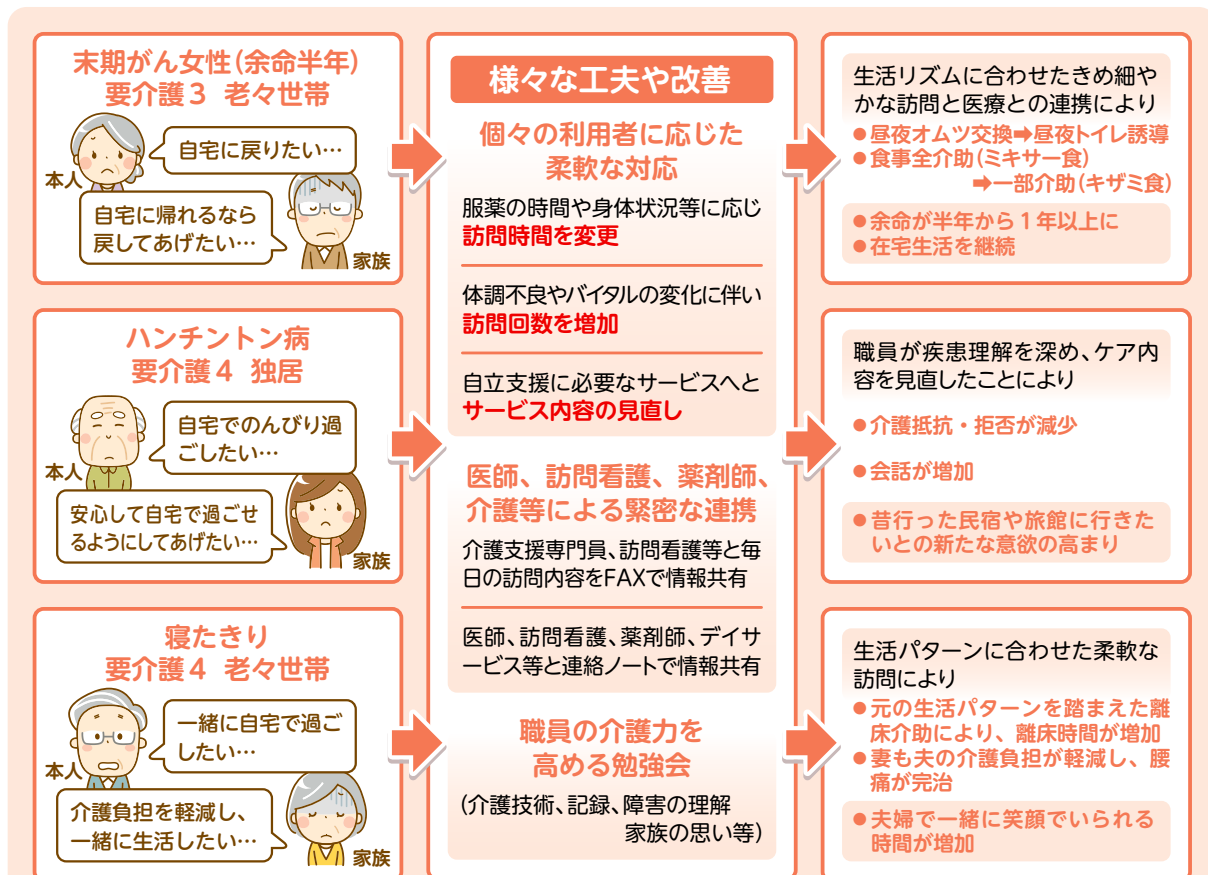
- ★ケアマネジャーや訪問看護との緊密な連携、定期巡回サービスの柔軟な運用
- ★困難事例へのきめ細やかな対応で在宅生活の継続を実現

定期巡回サービスによる末期がんなど困難事例へのきめ細やかな対応

取組みを始めた背景・経緯

自宅で生活したいと望む声は多くありますが、在宅生活は難しいとあきらめてしまう本人・家族がいます。自宅に戻りたい、自宅と一緒に家族と過ごしたいという本人・家族の思いを叶えるために、心身の状態に合わせた訪問時間、回数の変更、サービス内容の見直しや医師や訪問看護、介護支援専門員等の多職種との緊密な連携に取り組みました。

取組みの概要・特徴・成果



職員のモチベーション

在宅生活が困難といわれている方々を支える一員となり、在宅生活が継続することで、利用者の喜びが職員の喜びとなっています。その喜びが職員の経験・知識となり、新たな利用者の在宅生活の継続に繋がっています。

要介護度維持改善部門

社会福祉法人射水万葉会

射水万葉苑居宅介護支援事業所

所在地 射水市朴木211番地1

サービス 居宅介護支援

電話 0766-84-5678

URL http://www.imizu-manyoukai.or.jp/imizu_manyoukai/service/index.html#manegement

評価のポイント

- ★独自のOJTシステムによる事業所全体での新人育成への取組み
- ★地域の全居宅介護支援事業所を対象とした事例検討会の開催による地域全体のケアマネジャーの資質向上への貢献

独自のOJTシステムによる質の高いケアマネジャーの育成及び地域貢献

取組みを始めた背景・経緯

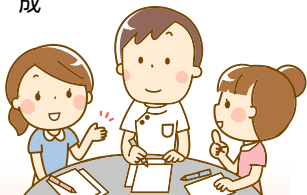
平成22年4月よりモデル的な介護支援事業所として認められる特定事業所加算Ⅰを取得していますが、介護保険制度の見直しにより取得要件が厳しくなり、さらなる人員確保が必要となりました。

職員の定着を図るため、独自のOJTシステムによる事業所全体での新人ケアマネジャーの育成に取り組むこととしました。

取組みの概要・成果

●職員一丸での新人育成の取組み

- ①職員全員でマニュアルを作成



ビジスマナーからケアプラン、介護保険外サービスまでを網羅し、常にブラッシュアップしています。

- ②エルダー制度を採用し、新人ケアマネジャーを主任ケアマネジャーが同行支援



主任ケアマネジャー自身も質を高め、指導力をつけるため、研修会に進行役としても積極的に参加しています。

- ③新人ケアマネジャーの疑問や不安を職員全員で解決



職員全員が集まる週1回の会議では「質問タイム」を設け、新人の疑問や不安に答えます。

事業者全体の質の向上
利用者の満足

●地域全体での事例検討会の開催

市内のケアマネジャーの質をより一層向上させ、地域全体の利用者の満足度を高めるため、特定事業所加算の要件である事例検討会を対象となる事業所に限らず、市内全体の居宅介護支援事業所に声掛けし開催しています。



地域全体の質の向上

得られた成果・今後の展望

独自のOJTシステムの導入により、新人ケアマネジャーのみならず指導する主任ケアマネジャーを含めた事業所全体の質の向上が図られています。

ケアマネジャーの技術の向上が、利用者への支援の向上につながり、利用者満足にもつながっていると思います。

今後は、中堅ケアマネジャーの実務能力の向上及び主任ケアマネジャーの指導力の向上を図ることを目的に、全職員での同行型研修を行っていく予定です。



要介護度維持改善部門

有限会社千石ケアサービス 千石ケアサービス

所在地 富山市千石町5-3-7

サービス 居宅介護支援

電話 076-491-4375

URL <http://care-net.biz/16/sengokucare/b43.php>

評価のポイント

★ボランティア団体等様々な分野のコミュニティとの広範なネットワークの構築

★積極的なインフォーマルサービス※の活用により在宅生活の継続を実現

※インフォーマルサービスとは…
地域のボランティアグループやNPO法人などの介護保険制度に基づかない援助等のこと

多様な分野とのネットワーク構築によるインフォーマルサービスの活用

取組みを始めた背景・経緯

高齢者の皆さんができる限り自分の力で身の回りのことをして生活していくためには、自助や互助への働きかけが重要です。自らが本来持つ力や、身近な周囲や地域との関係性を改めて見直す必要があります。コーディネーターであるケアマネジャーがもっとインフォーマル支援を意識すべきと考えています。

(例) 認知症のひとと家族の会、日本ALS協会富山県支部、全国パーキンソン病友の会富山県支部、富山市健康まちづくりマイスター連絡協議会、富山聞き書きボランティアクラブ、みつばちプロジェクト、富山県・市介護支援専門員協会、とやま在宅協議会 等々

取組みの概要・特徴

聞き書きボランティア団体

90歳代 茶道教室の先生
最近認知症が進行



茶道教室を続けたい…

役割や生きがいを持ち続けたい…



ケアプランに聞き書きボランティアを組み込む



自分の生きてきた道を語ってもらい、製本する「聞き書き本」を作成



聞き書きを進めるうちに本人に自信が芽生えいきいきした表情が蘇る

茶道教室を継続
3年間要介護度維持
必要最低限のサービスを維持

サービス担当者が利用者のことについてより理解を深める契機にも

地域の電器店

80歳代 独居
最近認知症が進行



自宅で暮らし続けたい…

日常の様子が変わらず、心配…



地域の電器店と連携してWebネットワークを導入

- IoT操作により室温等を遠隔コントロール
- 定期巡回訪問介護サービスの記録をWEB上で閲覧可能に



在宅生活の継続

本人と遠方の家族が互いに安心して生活



得られた成果・今後の展望

個々に合ったインフォーマルサービスを検討することで多様性・個別性のあるマネジメントが実践でき、ご本人が望む生活が送れると感じています。限られた取組みで終わらないようネットワークを更に広げ、つなぐ、インフォーマル支援への苦手意識を減らすなど、情報発信していきたいと考えています。



雇用環境部門

トータル・メディカル 津沢株式会社

所在地 高岡市佐野1095-2

サービス 居宅介護支援、訪問介護、通所介護等

電話 0766-25-3333

URL <https://www.hidamari-tmt.com/>

評価のポイント

- ★ICTの活用による介護記録時間の短縮、残業時間の減少を実現
- ★時間短縮効果を個別機能訓練等の充実に活用することで、利用者満足度が向上し、稼働率をアップ

取組みを始めた背景・経緯

当社のグループホーム・デイサービスでは、これまで、記録は紙媒体で手書きにより行われていました。しかし、職員が個々に手書きで書くため非常に読みづらく、時間も取られ、情報共有ができづらい環境となっていました。そこで、誰でも簡単に操作できる端末タブレット機器を導入し、業務をできるだけ省力化しようと考えました。

取組みの概要・特徴

平成31年4月より各事業所（グループホーム6か所とデイサービス、有料老人ホーム、計8か所）に端末タブレット機器を導入しました。最初は戸惑っていた職員も徐々に操作に慣れ、短時間での介護記録作成と職員間の情報共有ができるようになり、残業時間の減少につながりました。

また、過去のデータを引き出しやすく、比較しやすくなったことにより、医療への繋ぎ等がスムーズに行えるようになりました。



特に工夫したこと・苦労したこと

端末操作に苦手意識を持つ職員も多いため、導入前に各事業所にデモ機を配布し、専門インストラクターによる操作説明をしました。それにより、職員の不安が払拭され、高年齢の職員も積極的に活用するようになりました。

取組みの成果

業務の省力化によって職員のモチベーションがアップし、デイサービスにおいては、記録時間の短縮により、個別機能訓練の時間が増加しました。集団機能訓練（笑いヨガ）やユマニチュードを実施することにより、利用者様の満足度が向上し、その結果、利用者様の確保及び利用の継続につながりました。

（稼働率は前年同時期より150%増加）

グループホームなど施設においても、業務の省力化により残業時間が改善されました。（残業時間は前年同時期より20%減少）



雇用環境部門

社会福祉法人喜寿会

特別養護老人ホーム七美ことぶき苑

所在地 射水市七美891

サービス 介護老人福祉施設

電話 0766-86-2500

URL <http://kijukai.or.jp/>

評価のポイント

- ★腰痛予防プロジェクトによる、腰痛リスクの軽減や職員の資質向上を実現
- ★独自の福祉用具使用許可試験を行い、利用者・職員双方にとって、安心・安全・安楽な介護品質を確保

取組みを始めた背景・経緯

取組み前は、腰痛による休みや離職が多く、腰痛予防対策が喫緊の課題であった為、平成29年に腰痛予防プロジェクトを立ち上げ、専門家の指導の下、福祉用具の導入による職員の負担軽減に取組みました。また、ICTの活用等による効率化も推進しました。

取組みの概要・特徴

「介護品質」と「抱え上げない介護」を掲げ、スライディングシート、スライディングボード、介護リフト、介護ロボットを導入し、機能訓練指導員（理学療法士）による評価で、利用者に合った適切な介護用具を使用し、安心して安楽な介護サービスを提供する取組みを行っています。これにより、職員の負担が大幅に軽減され、年齢に関係なく無理なく介護が行え、妊娠中の職員も働き続けることが出来ます。また、同時に、iPad、グループウェアやインカム等のICTの活用による効率化を行い、利用者と向き合う時間を増やしています。



※冬季は感染予防の一環としてマスクを付けています。

特に工夫したこと・苦労したこと

プロジェクトチームを組織し、森ノ宮医療大学の上田喜敏教授（工学博士・理学療法士）の定期指導の下、人間工学に基づいた介助動作と福祉用具の取扱いを学び、法人独自の福祉用具使用許可試験の導入で介護技術と安全性を担保しています。また、福祉用具のメンテナンス担当による用具の安全性確保や、広報担当による意識啓発も行っています。

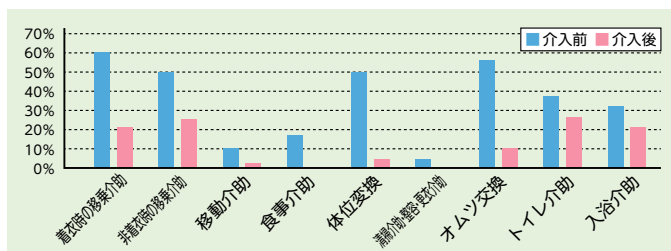
取組みの成果

腰痛リスクの高い介助作業や負担の大きい介助作業を高リスクと定義し、プロジェクト介入前と介入後で比較しました。その結果、最大で高リスクが46.8%減少し、職員の負担が軽減しました！また、平成30年には、当プロジェクトの取組みが評価され、腰痛予防対策に積極的に取り組む施設として、県社会福祉協議会から「腰痛予防対策推進福祉施設」の指定、令和元年には、富山県介護ロボット普及促進モデル事業の採択を受けました。

福祉用具の導入で利用者の身体的負担も軽減、皮下出血の報告数が半減し、QOLも向上しました。

※根拠：皮下出血報告件数（事故/外傷発見報告書）

2014年度 255件、2015年度 232件、2016年度 236件、2017年度 170件←腰痛予防PJ開始、2018年度 144件、2019年度 116件（見込み）



改善データ



〈参考〉過去の受賞者

平成30年度

【要介護度維持改善部門】

サービス	事業所名	取組概要
介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム かがやき (高岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の望む生活の実現に向けた丁寧なアセスメントの実施 ・多職種が連携した協議による個別ケアの実施 ・新たに配置した専門家（理学療法士）の視点を踏まえた機能訓練の実施
通所介護	ふしき苑 デイサービスセンター (高岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・外出支援の経験を活かした新幹線旅行の実施 ・利用者への意欲喚起による身体機能やQOLの向上、生活の活性化の実現
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	福寿会北部 定期巡回センター (南砺市)	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域における、介護・看護の両面からのアセスメントを踏まえた24時間365日の在宅生活支援 ・地域資源を活用した、地域ぐるみでの課題解決

【雇用環境部門】

法人・事業所名	取組概要
医療法人社団アスカ (氷見市)	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩社員による指導制度の導入や資格取得支援制度の充実による人材育成 ・管理職へのマネジメント研修の実施による職場環境整備
社会福祉法人海望福祉会 (魚津市)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上に向けた研修支援や人材育成に向けた制度の充実 ・ICTの活用による記録業務に関する残業ゼロの実現 ・育児・介護の両立に向けた積極的な環境整備
社会福祉法人マーシ園 (南砺市)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉機器の導入や腰痛予防研修の実施による職員の負担軽減 ・資格取得に対する手当や結婚・出産祝金などの充実によるモチベーションアップ



平成29年度

【要介護度維持改善部門】

サービス	事業所名	取組概要
介護老人 福祉施設	特別養護老人ホーム 射水万葉苑 (射水市)	<ul style="list-style-type: none"> 十分な水分摂取、義歯調整、歩行や座位姿勢の練習 積極的なトイレ誘導などへの継続的取組み オムツの使用しない人の割合や普通食の摂取率を高水準で維持
	特別養護老人ホーム 梨雲苑 (富山市)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアの実施により誤嚥性肺炎の入院者ゼロ 普通食の摂取率を高水準で維持 全ユニットへのユニットリーダーの配置
介護老人 保健施設	魚津老人保健施設 (魚津市)	<ul style="list-style-type: none"> 通常のリハビリメニューとは別に「フロアリハビリメニュー」を実施 定期的な口腔ケアの研修会や経口維持カンファレンスの実施 在宅復帰率60%以上
通所介護	砺波市北部 デイサービスセンター (砺波市)	<ul style="list-style-type: none"> 外部の専門職と連携した個別訓練計画の作成 スタッフ全員で計画的に機能訓練を実施

【雇用環境部門】

法人・事業所名	取組概要
社会福祉法人中新川福祉会 (舟橋村)	<ul style="list-style-type: none"> 職員の希望に沿うような研修機会や資格取得の支援の充実 リフレッシュ休暇制度の設定 介護機器の導入等による職員の業務の省力化や腰痛予防
社会福祉法人早川福祉会 (高岡市)	<ul style="list-style-type: none"> キャリアサポート委員会の設置 資格取得のための経済支援の充実 永年勤続表彰や育成面接の実施 柔軟な勤務体制等による職員のモチベーションアップ



がんばる介護事業所表彰

令和2年3月発行

編集発行／富山県厚生部高齢福祉課
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
TEL 076-431-4111(代)